

2013年5月13日 全4頁

# 中国：輸出急増の主因は偽輸出による水増し か

## 国家外貨管理局は外貨資金流入管理を強化へ

経済調査部  
シニアエコノミスト 齋藤 尚登

### [要約]

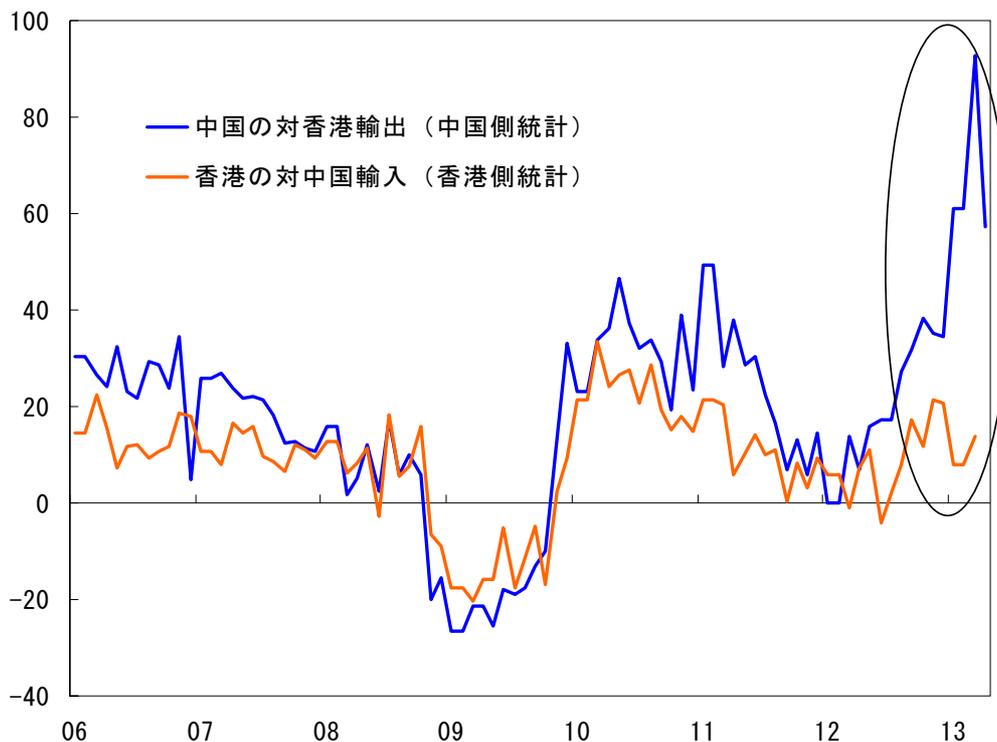
- 中国税関統計によると、2013年1月～4月の輸出は前年同期比17.4%増（4月は前年同月比14.7%増）、輸入は同10.6%増（4月は同16.8%増）と、好調だった。しかし、この輸出好調の主因は「偽輸出」による水増しである可能性が高い。中国の対香港輸出（中国側統計）と、香港の対中国輸入（香港側統計）は、ほぼ同じ動きをするはずであるが、直近では両者のギャップが急拡大している。香港の4月の貿易統計が未だ発表されていないため、1月～3月の金額の差を計算すると、実に495.0億米ドルに達する。1月～3月の中国の貿易黒字431.3億米ドルは全て消し飛び計算である。
- 恐らく、「偽輸出」の舞台は中国広東省と香港であり、香港から資金が中国（広東省）に流入し、不動産などに投資されているのであろう。2013年3月の70都市の新築住宅価格上昇率をみると、広東省広州市と深圳市が1位と2位となっており、不動産投資・投機資金の流入がその一因となった可能性が高い。
- こうしたなか、国家外貨管理局は5月5日付けで、外貨資金流入の管理を強化する旨の通知を発表し、偽輸出問題や域外からの不動産投資・投機資金の違法な流入を取り締まる姿勢を明確にした。偽輸出による水増し分が抑制されることで、年間の中国の輸出は、前年比10%増程度の伸びとなろう。2012年の前年比7.9%増から若干上向くのは日米景気回復による需要増加を見込むためである。

## 輸出急増の主因は「偽輸出」による水増しか

中国税関統計によると、2013年1月～4月の輸出は前年同期比17.4%増（4月は前年同月比14.7%増）、輸入は同10.6%増（4月は同16.8%増）と、好調だった。2012年年間の輸出が前年比7.9%増、輸入は同4.3%増だったことから考えると、その好調ぶりが際立つ。2013年1月～4月の貿易黒字は609.8億米ドルに達し、前年同期比3.2倍増を記録した。

しかし、輸出好調の主因は「偽輸出」による水増しである可能性が高い。1月～4月の相手国・地域別の輸出額上位5位までの増減率は、香港向け前年同期比69.2%増、米国向け同5.0%増、EU向け同0.9%減、ASEAN向け同30.6%増、日本向け同3.0%減と、日本を除くアジア向けが大きく伸長している。香港向けの最終需要先は香港ではなく、大部分は再輸出によって欧米など第3国に輸出されており、中国にとって、実質的には米国が最大、EUが第2位の輸出相手である。この点で、1月～4月の欧米向け輸出の増減率に比べ、香港向けが急増したことには、大きな違和感がある。香港向け輸出の急増が「偽輸出」による水増しのためと指摘されるゆえんである。中国の対香港輸出（中国側統計）と香港の対中国輸入（香港側統計）は、ほぼ同じ動きをするはずであるが、直近では両者のギャップが急拡大している。香港の4月の貿易統計が未だ発表されていないため、1月～3月の両者の金額の差を計算すると、実に495.0億米ドルに達する。1月～3月の中国の貿易黒字431.3億米ドルは全て消し飛ぶ計算である。

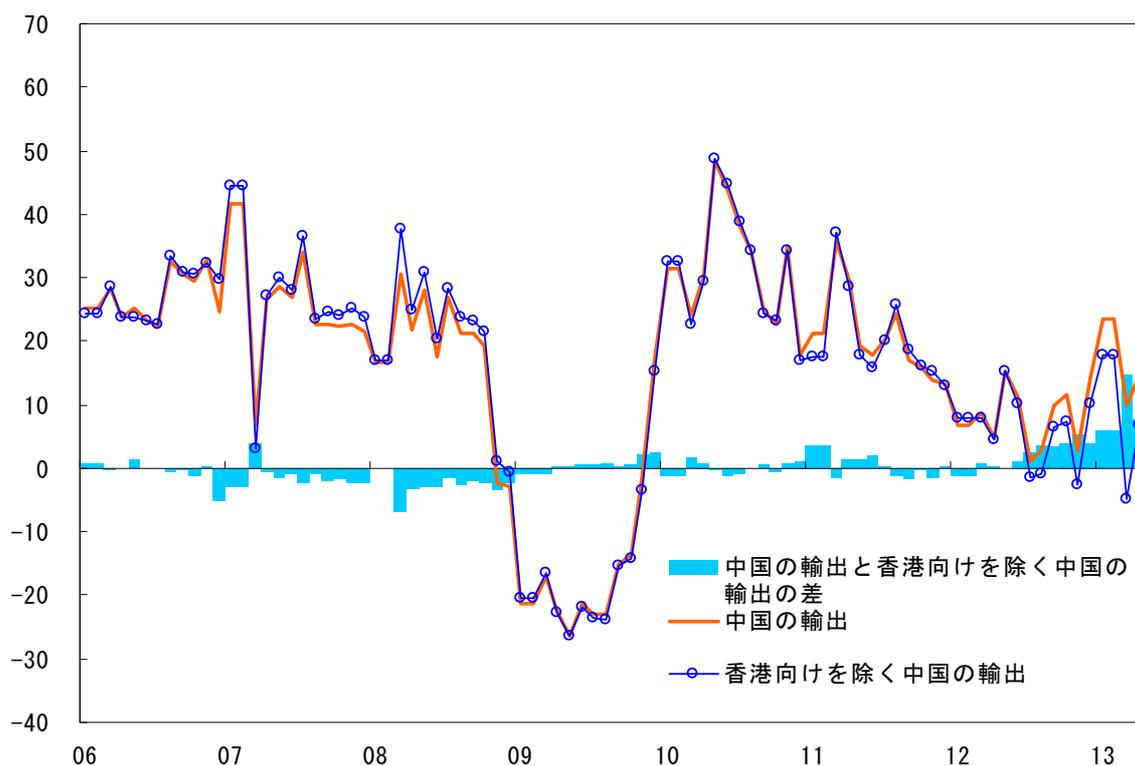
中国の対香港輸出（中国側統計）と香港の対中国輸入（香港側統計）の推移  
（前年同月比、単位：％）



（注）旧正月の時期による影響を避けるため1～2月は平均、香港側統計は2013年3月まで  
（出所）中国税関統計、香港統計処より大和総研作成

ちなみに、これまで中国の輸出と、香港向けを除く中国の輸出の伸び率は、ほぼ一致した推移となっていたが、ここへきてギャップが広がっていることが分かる。1月～4月の香港向けを除く中国の輸出は、前年同期比 8.5%増（4月は前年同月比 6.8%増）にとどまる計算であるが、こちらの方が実態に近いと考えられる。

#### 中国の輸出と香港向けを除く中国の輸出の推移（前年同月比、単位：％）



（注）旧正月の時期による影響を避けるため1～2月は平均  
（出所）中国税関統計より大和総研作成

さらに、1月～3月の中国の地方別輸出動向をみると、輸出額が100億米ドルを超える「輸出大省」の中では、広東省からの輸出が前年同期比 34.3%増と突出して伸びが高い<sup>1</sup>。労働コストの上昇などによって労働集約型産業の輸出競争力低下が指摘される広東省の輸出伸び率は、中国全体を下回る局面が多かっただけに、ここにきて全体を大きく上回るようになったことにも違和感がある。

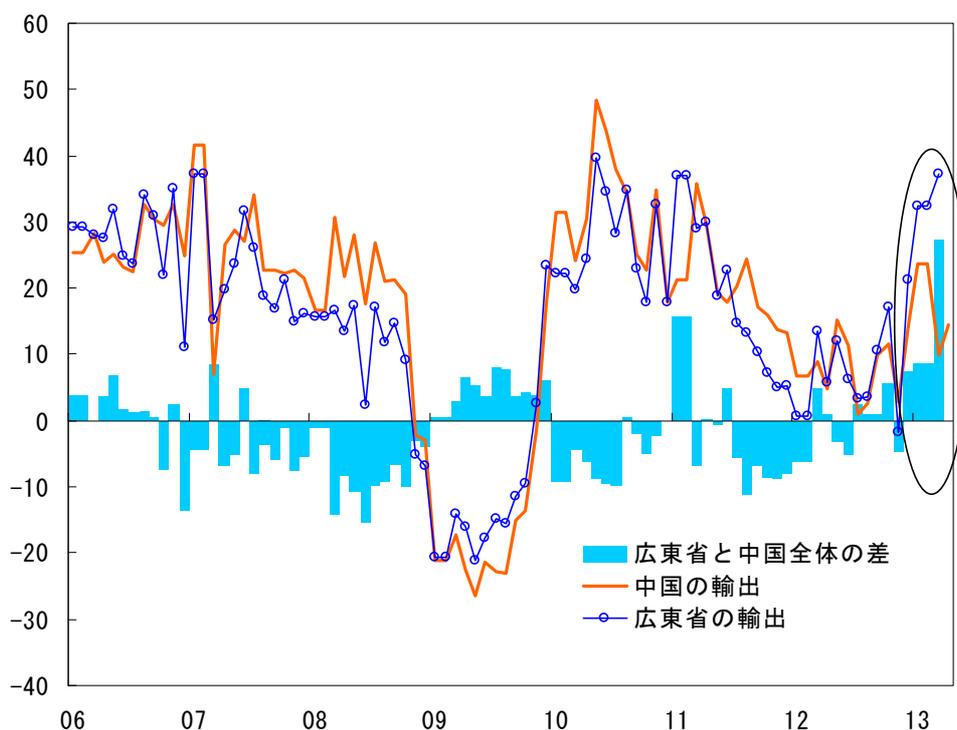
恐らく、「偽輸出」の舞台は中国広東省と香港であり、香港から資金が中国（広東省）に流入し、不動産などに投資しているのであろう。2013年3月の70都市の新築住宅価格上昇率をみると、広東省の広州市と深圳市が1位と2位となっており、不動産投資・投機資金の流入がその一因となっている可能性が高い。

<sup>1</sup> 2013年1月～3月の輸出額が100億米ドルを上回ったのは、金額の大きい順に、広東省（前年同期比 34.3%増）、江蘇省（同 2.8%増）、浙江省（同 11.6%増）、上海市（同 2.8%増）、山東省（同 3.5%増）、福建省（同 21.2%増）、北京市（同 10.5%増）、遼寧省（同 2.2%増）、天津市（同 1.8%減）の9つの省級行政区。

こうしたなか、国家外貨管理局は5月5日付で、外貨資金流入の管理を強化する旨の通知を発表し、偽輸出問題や域外からの不動産投資・投機資金の違法な流入を取り締まる姿勢を明確にした。偽輸出による水増し分が抑制されることで、年間の中国の輸出は、前年比10%増程度伸びとなろう。2012年の前年比7.9%増から若干上向くのは日米の景気回復による需要増加を見込むためである。

以上

#### 中国の輸出、広東省の輸出、広東省と中国全体の差の推移（前年同月比、単位：％）



(注) 旧正月の時期による影響を避けるため1~2月は平均  
(出所) 中国税関統計より大和総研作成

#### 2013年3月の新築住宅価格上昇率上位10都市と下位10都市（前年同月比、単位：％）

上昇率上位10都市		上昇率下位10都市	
広州（広東省）	11.1	温州（浙江省）	-9.2
深圳（広東省）	8.9	寧波（浙江省）	-3.3
北京	8.6	海口（海南省）	0.1
廈門（福建省）	6.5	金華（浙江省）	0.1
上海	6.4	杭州（浙江省）	0.3
鄭州（河南省）	6.3	大理（雲南省）	0.4
ウルムチ（新疆ウイグル自治区）	6.1	桂林（広西チワン族自治区）	0.6
福州（福建省）	5.9	泉州（福建省）	0.8
南京（江蘇省）	5.7	唐山（河北省）	1.1
南充（四川省）	5.6	三亜（海南省）	1.1

(出所) 国家統計局より大和総研作成